

公益財団法人 日本社会福祉弘済会 助成

タイの子どもとその家族を対象とした危険な移住と人身売買等防止のための教育支援

Education Support to prevent Tai children and families from unsafe migration and falling trafficked victims in Thailand

実施団体名：Alliance Anti Trafic (AAT)／人身売買等防止組織

担当修了生：Ms. Ratjai Adjayutpokin／ラットジャイ（タイ・13期）



実施団体概要

- ・タイ国内外と地域社会における、女性・女児への性的搾取のための人身売買に立ち向かうことを目的として活動。
- ・活動地域に監視員を配置し、特にラオスやミャンマー（シャン州）での女性や子どもの人身売買を防ぎ、経済的な代替案を含めた再建プログラムを強化し、発展させる。
- ・救済措置の実行を通じた被害者の保護、法的支援や心理的支援の提供を通じた被害者の社会復帰支援、および被害者の家庭復帰支援などに取り組む。

活動地

- ・ミャンマーのシャン州北部の紛争は、人びとが他の地域へと移住する原因となっており、とりわけ女性や子どもたちは、仕事を探すためにタイに行ったり、中国に移住しなければならない。シャウメは、女性や子どもたちがより良い生活を求めてタイで働くために流出してしまう傾向が強い町のひとつである。
- ・ラットジャイは、バンコクその他の地域でプロジェクトアドバイザーとして勤務している。



活動の目的、ねらい

- ・基礎教育を受ける機会のないタイの子どもたちに、教育支援を提供する。
- ・子どもたちとその家族に、危険な移住および人身売買の危険性について教育する。

活動の目的、ねらい

- ・ AAT（実施団体）はシャン州のコミュニティ・リーダーであるサイケインダ僧正（Ven. Saykeinda）と協力し、若い世代に向けて人身売買防止の研修キャンペーンを実施しており、地域の人びとが人身売買から自身を守る研修を実施したり、情報提供を行っている。研修キャンペーンの利用者は、2019年には600人を超えた。
- ・ TKO（Thai Kids Organization）はサイケインダ僧正によってシャウメに設立された。村には僧院がなく、社会問題や生活上の問題が起きていた。子どもたちや若者たちは誰一人として教育に関心を示さず、親たちの中には教育の重要性を認識していない者もいた。生活の質の向上のためには、子どもの教育および生活スキルを発展させることが重要であるとして、僧正は子どもに教育プログラムを提供すべく学校を運営し、コミュニティの人々や子どもたちのために、人身売買や、移民として安全に他国へ入るスキルの訓練を提供した。

事業の概要

(1) 支援対象

子ども（生徒）40名と、その家族

(2) 事業期間

2020年7月～2021年3月

（事務局付記）

タイでは、5月末まで非常事態宣言が延長された。本事業も当初計画では6月開始予定だったが、助成金の送金を留保し、活動開始可能な状況を確認したうえで6月17日に送金した。

(3) 事業計画

①子どもたちへの授業の提供

- ▶ 幼稚園児クラス；タイ語、シャン語、ミャンマー語、英語、数学
- ▶ 初等教育1・2年生；タイ語、シャン語、ミャンマー語、英語、数学、科学、（2年生）地理
- ▶ 社会、健康、運動、美術、修学旅行など生活に関する教育

②人身売買についての学びの提供

- ▶ 子どもたちとその両親への人身売買についての学びの提供

実施内容と成果

- ・学校は2020年7月に開校し、事業を開始する予定であったが、新型コロナウイルス（COVID-19）発生のため、8月まで、政府は開校を告知しなかった。そこで、生徒の保護者たちとのミーティングを開き、生徒を次の3グループに分けることにした。
 - 1) 5～7歳の子どもたち 18人；政府が開校を告知するまで自宅待機。
 - 2) 8～14歳の生徒 15人；いずれも初等教育課程に入学予定。学習のため中心部のウン・スー・パン僧院に送られる。
 - 3) 15～18歳の子どもたち 7人；初等教育課程を終え、開校まで自宅待機。
- ・学校が閉校していても、7月から11月まで以下の代替活動を実施した。
 - 1) 生徒たちの生活スキルを高める訓練としてのコンピュータ教室
 - 第1期 8月6日～11月6日 生徒15人、トレーナー2人
 - 第2期 12月15日～2021年3月 生徒15人、トレーナー2人訓練期間中、全社協からの支援により生徒たちには、本、ペン、鉛筆、テーブル、いす等の文房具や設備が提供された。
 - 2) その他の生活スキル訓練活動 Dhamma（仏法）学校
 - 11月6日より 生徒61人（9～18歳、女子39人／男子22人）訓練内容は、運動、瞑想、Dhammaの道徳や伝統の理解、心身の健康等。

①



TKO 学校職員

②



TKO 学校の校舎

③



助成金で購入した机と椅子

④



Dhamma (法) 教室

⑤



コンピュータ教室

⑥



授業を受ける生徒たち

今後の展望

- ・将来的には、次のような活動につなげ、子どもたちの状況を向上させたい。
 - ▶ 親のない子、貧しい家庭出身の子どもたちが教育を受ける。
 - ▶ 教育を受けられなかった子どもたちが勉強する。
 - ▶ お金のない子どもたちが学校で養育を受ける。
 - ▶ 子どもたちがリーダーシップの訓練を受ける。
 - ▶ 子どもたちが自発性の訓練を受け、自立する。

**実施
スケジュール**

実施日	項目
2020年7月	学校閉校中のため、対象となる生徒をグループに分け、代替活動を実施
2020年8月6日～ 11月6日	コンピュータ教室（第1期）
2020年11月6日～	生活スキル訓練活動、仏法学校
2020年12月15日～ 2021年3月	コンピュータ教室（第2期）

収支報告

(1) 収入

項目	金額(バーツ)	金額(円)	内 容
全社協からの助成金	83,000	292,990	
合 計	83,000	292,990	

(2) 支出

項目	金額(バーツ)	金額(円)	内 容
教材 教材(本、鉛筆)	19,443	68,634	ノート25ダース 鉛筆12セット ペン10ダース 定規50本
生徒のための学校用机と椅子 生徒たちの部屋の設備備品	8,167	28,830	椅子50脚 机52卓
おもちゃおよびスポーツ用品	38,788	136,921	おもちゃ8セットおよび スポーツ用品
本棚その他学用品 棚を作るための資材	16,602	58,605	本棚6本
合 計	83,000	292,990	

注) タイバーツ(THB)で提出された報告をもとに円に換算して表記

換算レート: 1バーツ ≈ 3.53円 [送金日(2020年6月17日)の為替レート]

タイ王国 基本情報



面 積 ^{*1}	約 51.3, 万km ² (2019 年)
人 口 ^{*1}	6,963 万人 (2019 年)
人口密度 ^{*1}	129 人／km ² (2019 年)
主要民族 ^{*2}	大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
主要言語 ^{*2}	タイ語
主要宗教 ^{*2}	仏教 94%、イスラム教 5%
政治体制 ^{*2}	立憲君主制
1人あたりの国民総所得 ^{*1}	7,407 米ドル (2019 年)
通 貨 ^{*1} (1米ドル= 109,010 円換算)	1 米ドル= 31.048 バーツ (2019 年平均) 100 円≈ 28.482 バーツ
平均寿命 ^{*1}	男 72 歳、女 79 歳 (2016 年)
65 歳以上人口割合 ^{*3}	12.406% (2019 年)
合計特殊出生率 ^{*4}	1.525 (2018 年)

*1 統計局 世界の統計 2021 <https://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.html>

*2 外務省 HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/thailand/index.html>

*3 World Bank Population ages 65 and above (% of total population) - Thailand
<https://data.worldbank.org/indicator/SP.POP.65UP.TO.ZS?locations=TH>

*4 World Bank Fertility rate, total(births per woman) - Thailand
<https://data.worldbank.org/indicator/SP.DYN.TFRT.IN?locations=TH>